

「やさしい日本語」で話してみよう

外国人は、「やさしい日本語」で話せばわかってもらえる場合が多いです。
18ページまでは、県内にいる外国人の文化について紹介しました。
19ページからは、近くにいる外国人と話す方法を紹介します。
外国人の方も話してみてください!

「やさしい日本語」ってなに?

「やさしい日本語」とは、普段使われている言葉を外国人にもわかるように配慮した、簡単な日本語のことです。本来は災害発生時にできるだけ早く情報を提供し、適切な行動をとれるように考え出された方法ですが、日常生活においても、外国人はもちろん、小さな子どもや高齢者、障害をもった人などにも配慮したコミュニケーション方法の一つです。

やさしい日本語で話すポイント

- 余分な情報はいれない
- 大切な情報を前に持ってくる
- 身振り手振りや絵でも伝える
- 一文で、一つの情報だけにする
- 難しい言葉を易しい言葉に置き換える
(例: 記入する → 書く)
- 「トントン」、「バーン」などといった擬態語・擬音語を避ける

① 近所の人とあいさつするとき、相手の名前を知りたいとき

- ・こんにちは。私は〇〇です。よろしくお願ひします。
あなたは?
- ・元気ですか?
- ・私は元気です。



② ごみ出しの方法を教えるとき



- ・ごみは燃えるごみ、燃えないごみにわけます。
- ・燃えるごみは〇曜日です。燃えないごみは△曜日です。
机やベッドなどの大きいごみは、2週間後の〇曜日です。
- ・今日は燃えるごみの日です。びん、缶は出さないでください。
- ・ごみは朝の〇〇時から△△時までに出してください。

③ 電車に乗るとき、切符を売る場所で

- ・どこに行きますか?
- ・静岡駅に行きますか?
- ・切符を買ってください。
- ・静岡駅までは〇〇円です。



④ 買い物するとき



- ・何がほしいですか?
- ・大きさは大丈夫ですか? 小さいですか?
- ・お金を払う場所はあそこです。
(※レジをゆびさして)

⑤ 駐輪場(自転車をとめる場所)で

- ・大丈夫ですか?
- ・自転車に鍵をしましたか?
- ・一緒に探しましょう。
- ・色は赤ですか? 青ですか?
- ・大きいですか? 小さいですか?
- ・自転車はないです。一緒に警察に行きましょう。



※本書で紹介した8か国以外の、県内に在住する外国人の文化について理解を深めたい方は、(公財)静岡県国際交流協会のホームページ(<http://www.sir.or.jp>)で各種支援団体等について検索することができます。